

工事中の消防計画

1 工事計画及び施工者等

(1) 工事概要

(2) 工事日程表

別添, 工事日程表のとおり

(3) 工事範囲

別添, 工事図面のとおり

(4) 機能に支障を生じる消防用設備等 ★

別紙 1

(5) 機能に支障を生じる避難施設等 ★

別紙 2

(6) 火気を使用する設備器具等の使用 ★

別紙 3

(7) 危険物等を取り扱う作業 ★

別紙 4

(8) 連絡先

(9) 緊急連絡先

(10) その他

2 工事中の防火管理体制

(1) 出火防止対策

ア 日常の火災予防

(ア) 防火担当責任者及び火元責任者を別表 1「日常の火災予防組織」のとおり指定し、それぞれの任務に従って日常の火災予防を行う。

(イ) 火元責任者は、別表 2「日常の自主検査チェック表」を用いて、担当区域内の日常

とし、次の事項について予防措置を実施する。

- a 工事中資機材等の転倒防止措置
- b 工事中足場、資材等の落下、飛散防止措置
- c 火気設備器具の点検と安全措置
- d 危険物品の転倒、飛散防止措置

イ 地震後の安全措置

- (ア) 工事関係者は、地震が起きたら直ちに直近の火気設備器具の元栓、器具栓の閉止又は電源遮断を行い、火元責任者はその状況を確認する。
- (イ) 地震発生直後は、身の安全を守ることを第一とする。
- (ウ) 各設備器具等は、安全を確認した後に使用する。
- (エ) 工事責任者は、工事部分等を点検、確認し、被害状況を防火管理者に報告する。
- (オ) 被害があった場合は、応急措置を行い、被害状況によっては工事を中止する。

(4) 自衛消防について

組織の編成

| | | |
|------------------|--|--|
| 自衛消防隊長 _____ | | 1 防火管理者と相互に連絡を取り、工事部分全体の自衛消防隊の活動を統括指揮する。 2 火災に係る情報を集約し消防隊に報告する。 |
| 指揮担当者 _____ | | 1 自衛消防隊長を補佐する。 2 出火階での指揮及び命令の伝達並びに情報の収集を行う。 |
| 通報担当者 _____ | | 1 消防機関及び使用中のテナント関係者に火災発生を旨を通報、連絡する。 2 自衛消防隊に必要事項を伝達する。 |
| 消火・避難誘導担当者 _____ | | 1 消火器等を活用し、消火活動を実施する。 2 避難上障害となる物品を除去する。 3 非常口の開放並びに開放の確認を行う。 4 防火シャッター等を人が通れる高さまで下ろし、煙の拡散を防ぐ。★ 5 非常警報器具等（拡声器等）を活用し利用客を避難口に誘導する。 6 最終避難する際に、全ての防火戸及び防火シャッター等を完全に閉鎖し、火災の拡大を防止する。★ 7 排煙設備を作動させる。★ 8 最終避難する際に、逃げ遅れを確認し自衛消防隊長に報告する。 |

(5) 消防機関への届出等

ア 届出事項

| 種 別 | 届 出 等 の 時 期 |
|---------------|-----------------|
| 工事中の消防計画の変更届出 | 工事中の消防計画を変更したとき |
| 訓練実施の通報 | 自衛消防訓練を実施するとき |

イ 連絡事項

| | |
|------------------|---|
| 消防用設備等の代替措置等について | 工事施工上やむを得ず機能を停止等する場合、事前に消防署と協議の上、火災予防上安全な措置を図る。 |
|------------------|---|

(6) 避難経路

ア 工事部分等における避難経路図を作成し、工事部分等の出入口、工事人の休憩室、現場事務所、各階段の付近に掲示する。

イ 避難経路には、資材等の物品が置かれないう確保する。

ウ その他

二方向避難を図る。

(7) 防火区画

ア 防火区画については、別図2のとおり。

イ 火元責任者は、防火区画に異常がないかどうかを自主検査チェック表に基づき確認し、破損等を発見した場合は、直ちに改修する。

ウ その他

使用部分と工事部分は完全に区画を行う。

3 工事期間中の工事人への教育・訓練の実施及び工事中の消防計画の周知

(1) 防災教育

ア 防災教育の実施時期等

防災教育の実施時期、実施責任者、実施対象者、実施回数は下表のとおりとする。

| 対 象 者 | 実施時期 | 実施回数 | 実 施 責 任 者 | |
|---------|-------|------|-----------|-------|
| | | | (統括)防火管理者 | 工事責任者 |
| 全員 | 工事開始前 | | | |
| | 作業開始前 | | | |
| 防火担当責任者 | 工事開始前 | | | |
| | 随時 | | | |

イ 防災教育の内容

| 対 象 者 | 実 施 内 容 |
|---------|--------------------------------------|
| 全 員 | 1 工事中の消防計画について |
| | 2 遵守事項の徹底について |
| | (1) 火気管理, 喫煙管理 |
| | (2) 避難施設等の維持管理 |
| | (3) 危険物品等の管理 |
| | 3 災害発生時の対応要領について |
| 防火担当責任者 | 1 工事中の消防計画について |
| | 2 各自の任務分担と責任範囲について |
| | 3 日常の火災予防の徹底について |
| | 4 自主検査チェック表による自主検査の徹底について |
| | 5 災害発生時における工事部分と使用している部分の連絡体制の徹底について |
| | |

(2) 自衛消防訓練

ア 実施時期については、工事着工前に行い、以後半年に1回実施する。

イ 自衛消防訓練については総合訓練を実施する。

(3) 工事中の消防計画の周知に関すること

ア 防火管理者は、前記の防災教育及び訓練を通して、全従業員、工事関係者に対して、工事中の消防計画を周知徹底する。

イ 工事責任者は全ての工事関係者に消防計画に定める遵守事項についての指導を徹底する。

別紙1 機能に支障を生じる消防用設備等の代替措置に関すること

| 1 消防用設備等 | | |
|---------------------------------|---|---------------|
| 種 類 ・ 区 域 | 支障を生じる期間 | 代 替 措 置 の 概 要 |
| | | |
| 2 管 理 の 方 法 等 | <ol style="list-style-type: none"> 1 防火担当責任者及び警備員等による巡回の回数を増やす等, 監視体制を強化する。 (毎日〇時間ごとに巡回を実施する。) 2 機能を停止する消防用設備等の種類, 停止時間及び停止部分は必要最低限にする。 3 機能を停止する工事は, 営業時間外の時間に行う。 4 工事責任者は, 防災センター等に工事内容(機能が停止する設備等)について, 連絡を密にする。 5 工事終了後, 防火担当責任者及び警備員が点検を実施する。 6 機能を停止する場合は, 消防機関と協議する。 | |

別紙2 機能に支障を生じる避難設備等の代替措置に関すること

| 1 避難施設及び非常用進入口等 | | | |
|---------------------------------|--|----------|---------|
| 種類 | 区域 | 支障を生じる期間 | 代替措置の概要 |
| | | | |
| | | | |
| 2 管 理 の 方 法 等 | <ol style="list-style-type: none"> 1 工事部分及び使用している部分に、避難経路図を掲示する。 2 避難誘導担当者及び工事人に対して、避難経路について周知徹底する。 3 できる限り二方向避難を確保する。 4 防火担当責任者は、避難階段、通路等及び非常用侵入口付近に障害となる資材等が置かれていないかを随時確認する。 5 作業時間帯の非常口は瞬時に開放できるようにする。 | | |

別紙3 火災発生危険等に対する対策に関すること

| 1 火気使用設備器具の状況及び火災の発生のおそれのある機械器具等 | | | | |
|----------------------------------|---|------|------|-------|
| 種類 | 数量 | 使用場所 | 使用期間 | 設置方法等 |
| | | | | |
| 2 管 理 の 方 法 等 | <p>1 使用する場合は、事前に防火管理者へ届出をし、承認を受ける。</p> <p>2 器具等の使用前、使用後の点検を確実に実施する。</p> <p>3 溶接、溶断作業等を行う場合は、火花が飛散する範囲内の可燃物を除去又は不燃性シート等による遮へいをしてから行う。</p> <p>4 溶接、溶断作業等を行う場合は、近くに消火器等を配置する。</p> <p>5 溶接、溶断作業等を行う場合は、監視員を配置する。</p> <p>6 危険物及び可燃物の周辺では、火気を使用しない。</p> | | | |

別紙4 危険物品等の管理に関すること

| 1 危険物品等 | | | | |
|---------------------------------|--|------|------|----------|
| 種類 | 数量 | 使用場所 | 使用期間 | 保管・設置方法等 |
| | | | | |
| 2 管 理 の 方 法 等 | <p>1 危険物品等は、工事現場内には常時保管しない。保管する場合は、施錠するなど管理を徹底する。</p> <p>2 塗料等の危険物を使用するときは、付近に火気及び火花を発生するもの等がないことを確認してから使用する。</p> <p>3 一時保管場所には、取扱い上の注意事項等及び取扱責任者を明示する。</p> <p>4 一時保管場所には消火器を設置する。</p> <p>5 常に整理整頓をする。</p> <p>6 危険物使用中は、火気の使用及び喫煙は禁止する。</p> <p>7 危険物使用中は、換気を行いながら作業を行う。</p> <p>8 危険物品等を貯蔵し又は取扱う場合は、事前に防火管理者及び工事施工責任者へ届出し、承認を受ける。</p> | | | |

別表 1

日常の火災予防組織

| | 防火担当責任者 | 業 務 | 火元責任者 | 業 務 |
|--------------|---------|---|-------|--|
| 工事責任者 () | | 1 工事責任者の補佐 2 作業現場のパトロール 3 作業終了後の安全確認 4 作業現場の立入制限 5 火元責任者の指導監督 | | 1 火気管理 2 喫煙管理 3 避難施設の維持管理 4 作業現場の整理整頓 5 消火器・屋内消火栓の維持管理 6 地震時の初動措置 |
| | | | | |

別表2

日常の自主検査チェック表

○月

| 日 | 曜日 | 検査項目 | | | | | | | | | 備考 ○不備欠陥事項記入 ○改修状況記入 ○その他の |
|----|----|-----------|----------|-----------|------|------|------|----------|--------------|-----------|-------------------------------------|
| | | 終業時の火気の確認 | 終業時の施錠確認 | 終業時の吸い殻処理 | 消火設備 | 警報設備 | 避難設備 | 防火戸の閉鎖障害 | 防火シャッターの閉鎖障害 | 避難経路の確保状況 | |
| 1 | | | | | | | | | | | |
| 2 | | | | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | | |
| 11 | | | | | | | | | | | |
| 12 | | | | | | | | | | | |
| 13 | | | | | | | | | | | |
| 14 | | | | | | | | | | | |
| 15 | | | | | | | | | | | |
| 16 | | | | | | | | | | | |
| 17 | | | | | | | | | | | |
| 18 | | | | | | | | | | | |
| 19 | | | | | | | | | | | |
| 20 | | | | | | | | | | | |
| 21 | | | | | | | | | | | |
| 22 | | | | | | | | | | | |
| 23 | | | | | | | | | | | |
| 24 | | | | | | | | | | | |
| 25 | | | | | | | | | | | |
| 26 | | | | | | | | | | | |
| 27 | | | | | | | | | | | |
| 28 | | | | | | | | | | | |
| 29 | | | | | | | | | | | |
| 30 | | | | | | | | | | | |
| 31 | | | | | | | | | | | |

(凡例) ○……良 ×……不備

⊗……即時改修

| | |
|-------|--|
| 確認印 | |
| 工事責任者 | |